

ともしえ

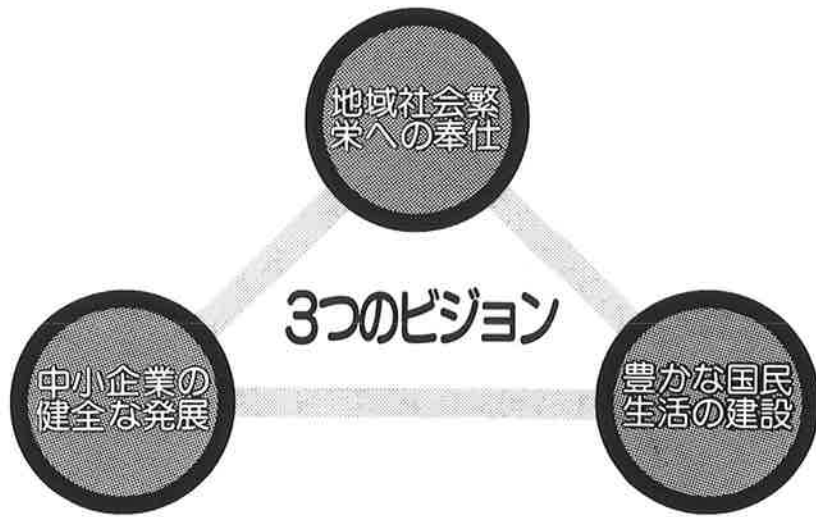
No. 67



■函館商工会議所報■

1986 8月号

親しめる
頼れるみんなの
商工会議所



はこしんは豊かな暮らしと
確かな未来の実現に
お手伝いいたします。

 **はこしん**
函館信用金庫

本部 函館市豊川町7番19号 TEL22-1241代

本店	函館市豊川町15番20号	TEL22-1247代	亀田支店	函館市亀田本町56番4号	TEL42-3820代
松風町支店	函館市松風町11番15号	TEL23-6221代	中道支店	函館市中道1丁目24番12号	TEL51-1711代
ばんだい支店	函館市宮前町14番15号	TEL41-6236代	上磯支店	上磯郡上磯町飯生2丁目4番24号	TEL73-2151代
五稜郭支店	函館市本町30番24号	TEL52-0511代	えさん支店	亀田郡恵山町字中浜115番の4	TEL84-2111代
弁天支店	函館市弁天町13番11号	TEL26-3646代	七飯支店	亀田郡七飯町字本町392番8	TEL65-2501代
千代台支店	函館市千代台町12番22号	TEL51-5238代	木古内支店	上磯郡木古内町字本町53番1	TEL木古内 2-3121代
湯川支店	函館市湯川町2丁目18番7号	TEL57-1492代	知内支店	上磯郡知内町字重内13番地の11	TEL知内 5-5611代
花園支店	函館市日吉町1丁目27番3号	TEL53-5521代			

●ともし・67号目次●

視 点	1
会議所の動き	2
地域の景気	6
調査レポート	8
アドバイスコナー	12
寄稿文	14
Q & A	16
情報コーナー	18
ティータム	20
ご案内	22



● 視 点

八月八日の立秋もとうに過ぎ、短い函館の夏は足早に過ぎ去って行きます。

春に心配された観光客の出足も、七月・八月の暑さとともに上昇してきました。そして観光の目玉である函館山を訪れた観光客は、その夜景の美しさに讃辞を惜しまなかつたようです。港まつりに当市を親善訪問されたミス横浜、ミス神戸、ミス長崎のお嬢さん達も、異口同音に函館山からの夜景は、これら四市の中で最高のものであるとお話があったのも事実です。

たしかに眺めは最高です。が、登山道路の渋滞でイライラさせられたり、ロープウェイの行列待ちなど、暑い最中ご苦労なこともあるようです。また、これだけの苦労をされて山頂に至っても、眺望はなる程見事ですが、他の観光地と較べて見劣りする展望施設よりなく、山頂からの眺望がこれを補ってくれているとはいえず、観光立地を目指している函館の人は何をやっているのかの声もあります。

しかし、幸いなことに、関係者のご努力により、ロープウェイの大型化（日本一）と立派な展望施設の建設が日程に上ってきていることは喜ばしいことであり、山の自然についても、長年の努力によりすっきりと緑に覆われ、美しい山容を見せてくれることも本当に嬉しいことです。

昭和六十三年七月開催の青函博までには、観光客ばかりでなく市民も喜んで出かける美しく、そして楽しい函館山づくりに、市をあげて取り組もうではありませんか。

会議所の動き



青函博実行委員会

設立総会開催

青函博実行委員会設立総会は去る七月二十九日、北海道をはじめ官公庁及び関係者が出席して開催されました。

総会において規約は原案通り可決され、役員については総裁には北海道知事、青函博の実行組織である実行委員長には函館市長、副委員長には本所会頭等が選任され



川田会頭をつあさ

ました。

また、事業の総予算二十七億円も（北海道二十一世紀博覧会は十

魅力ある観光地づくりをめざして

観光サービス部会開催

観光サービス部会が、去る七月二十八日、本所会議室において開催されました。

当部会では昭和六十三年に開催される青函博に向けて、観光関連業界は何をすべきかを基本方針に活動を進めています。その一環として各種業界及び地域団体との意見交換会を行っています。

今回はその第二弾として、今年四月に渡島支庁プロジェクトチームが道南観光への提案としてまとめた報告書をもとに支庁担当者との懇談会を開催しました。

「自然への愛、歴史への夢、観

七億円）全員一致で決定し、閉会しました。

これまで準備委員会で作業を進めてきましたが、本委員会設立にともない、六十三年の開催に向けて本格的に始動しました。

青函博は、みんなの力で成功させよう

光への希望」と題したこの報告書は道南地方に豊富に所在する歴史文化資源、自然資源を再活性化し、魅力ある観光地をめざすための具体策として十九の提案と九十項目にわたる諸施策をあげています。

「西部地区の街なみの再生」、「大沼の国際リゾート・コンベンションゾーン化」、「国際的イベントの誘致と展開」、「広域青函観光圏の確立」など内容は多岐にわたっており、出席者からの活発な意見交換の後、行政と経済界が一体となり、これら提案の実現に協力していくことが確認されました。

函館空港整備拡充へ中央陳情

滑走路延長理由

さらに具体性要求さる

去る七月三十一日函館空港整備促進連絡協議会は、函館空港整備拡充（滑走路三千メートル）について、木戸浦市長・村瀬本所副会頭等一行十人が関係省庁へ陳情しました。

運輸省では、この五月始め第五次空港整備計画の初年度に函館、松山両空港の拡張計画に対する本格調査に入ることが決り、調査費を計上しましたが、地元ではこれまでに陳情要望したことがあり、これで滑走路の拡張計画が一層促進されるものと今後に期待をかけていました。しかしながら実体は滑走路延長の是非を探るための調査であることから、このたび改めて強力な陳情を行ったものです。

陳情要旨は、(一)大型機の冬期間安全運航を図る(二)新東京国際空港の代替空港としての対応(三)千歳空

港（国際空港化）の代替機能の拡充(四)輸送機関（空路）の確保による通年観光計画推進の確立(五)北方圏との経済交流（北米から魚介類輸入実績有）を図り地域経済の活性化を目指し国際空港としての施

産業経済視察実施

「北海道二十一世紀・さっぽろ花と緑の博覧会」

本所議員会（会長 若山徳次郎）主催による産業経済視察が、七月二十四日、二十五日の二日間の日程で、「岩見沢・北海道21世紀博覧会・さっぽろ花と緑の博覧会」視察を実施し、議員九人が参加しました。

初日、新時代への創造をテーマとする21世紀博覧会に先立ち、岩

設整備を図る(六)CIQ（税関、出入国管理、検疫）機能が揃い空港への対応が容易等々であり、当日は橋本運輸大臣はじめ、運輸省、北海道開発庁の上層部と種々懇談、陳情しましたが、両省庁では千歳空港の国際化が進展しつつある中、本道に更にもう一つ国際空港を持つ理由は見当らない。もつと地域社会に大きな影響をもたらす具体的な要件を打ち出すべきと指摘されました。

見沢商工会議所の会議室に於て、同博覧会関係者との懇談会を開催し、六十三年七月に開催される「青函トンネル開通記念博覧会」の参考にするための意見交換を行いました。

当日の懇談会では、同博覧会実行委員会事務局の谷口事務局長から、21世紀博覧会案から現在まで

の経過説明を受けた後、懇談会のテーマとして

- ① 博覧会事務局体制の概要
 - ② 収支予算（主催者負担およびその他収入の内訳）
 - ③ 前売り券販売方法とその実績
 - ④ PRの方法（イベント等も含む）
 - ⑤ その他
- などが出され、それぞれについて活発な意見の交換がなされました。

翌日、花と緑の博覧会を視察、会場は、花のオリンピック広場、世界の庭園等、六カ所にわけられそれぞれを見学し、二日間の有意義な視察を終えました。



北海道21世紀博覧会会場にて

一万人踊り パレードに市民酔う

本所職員ら40人参加

開港128年記念
函館港まつり

開港百二十八年を記念する函館港まつりが、八月一日から一週間にあわたってにぎやかに繰りひろげられました。

一日に行われた全国花火大会は千二百発が夜空に次々と打ち上げられ、お祭り気分が一挙に盛り上がりました。



曲にあわせて行進する本所・婦人会・職員

また、港まつりイベント最大の「一万人踊りパレード」は、長崎・神戸・横浜・函館のミスを先頭に、四日の午後五時、末広町銀座通りをスタートし、駅前祇園通りまで

「函館港おどり」、「いいんでないかい」の曲にのって踊り歩き、イカ踊りを最後に幕を閉じました。

ことしは、参加団体こそ昨年より若干少なかったものの、九千五百人が参加（昨年九千六百六十人）し、本所からは、職員・婦人会など総勢四十人が参加、沿道の見物客から声援をうけました。

慶子（遺愛高校） ● 中学校の部
渡辺英男（附属中） ● 小学生の部
綿谷美咲（附属小）

ワープロ技能検定試験

日本商工会議所、函館商工会議所主催による第三回ワープロ技能（三級）検定試験が、七月十三日（日）数会場に別かれて実施されました。

「文書処理技術常識」、「文章判読」の筆記試験二科目と、「文書作成・技巧」、「入力」の実技試験二科目の難問に六十五人が挑戦し、次の九人がみごと合格しました。

▲合格者▼

小山百合子（三橋経営会計事務所）

丸岡 美子（㈱函館マツダ）

荒木 亮子（函館中央病院）

五十嵐説子（函館地方海難審判理事所）

近藤 千香（麻田会計事務所）

根本 裕子（函館大妻高等学校）

高野 文恵（クク）

本間 享美（㈱北海道電子計算センター）

三原由美子（㈱ティンヨク函館工場）

函館地区珠算競技大会並びに

第三回ワープロ技能検定試験実施

函館地区珠算競技大会

本所主催による第三十九回函館地区珠算競技大会が、七月二十日本所で開催されました。

今回の大会には、選手百七人が参加し、それぞれ、一般・高校の部、中学の部、小学生の部にわかれて技を競い合いました。

競技種目は、乗算、除算、見取算、見取暗算、伝票算、応用計算、読上暗算、読上算の八種目が行われ、そのうち総合競技の上位入賞

者は、今年九月二十一日に小樽市で開催される全道珠算競技大会に函館地区代表の選手として出場することになっていきます。

競技の結果「そろばん函館一」には小野慶子さんが、「そろばん中学生函館一」には渡辺英男さんがそれぞれ栄誉に輝きました。

入賞者（一位のみ）は次の通り

▲団体▼ ● 高校の部 遺愛女子高校 ● 中学校の部 戸倉中学校

▲個人▼ ● 一般・高校の部 小野



事務局日誌

7 月

◇部 会

28日 観光サービス部会

◇委 員 会

16日 青函博特別委員会

◇正副会頭会議

21日 第17回正副会頭会議

◇会 議

- 1日 第1回運輸観光・地域振興合同委員会
- 9日 小企業等経営改善資金審査会
- 10日 第124回全道専務理事事務局長会議
- 11日 第36回全道商工会議所大会
- 17日 日商第343回常議員会
- 29日 小企業等経営改善資金審査会

◇諸 会 議

- 1日 議員会役員会
- 2日 青函トンネル開通記念博覧会準備委員会・幹事会
- 〃 観光土産品試買検査会
- 〃 土産品研究会並びに表彰式
- 3日 社団法人北海道国際貿易促進協会打ち合わせ会議
- 〃 第7回函館市商工連絡会議幹事会
- 〃 婦人会例会
- 4日 五稜郭商店街整備協議会技ち合わせ
- 7日 函館情報技術振興公社(仮称)発起人会
- 8日 昭和61年度東北・北海道計量大会
- 〃 函館繊維商組合役員会
- 11日 青函トンネル資材協力会 昭和61年度定時総会
- 18日 昭和61年度北海道ブロック商工調停士研究会
- 21日 社会保険事務講習会
- 22日 函館情報技術開発センター設立発起人会
- 23日 第11回「高田屋嘉兵衛まつり」顕彰式
- 24日 振興委員連絡協議会

- 24~25日 本所議員会・産業経済視察
- 25日 函館港まつり 一万人踊りパレード責任者会議
- 29日 青函トンネル開通記念博覧会実行委員会設立総会
- 30日 北海道納税推進運動渡島地方支部委員会
- 〃 函館地域雇用開発推進会議
- 31日 函館北東会通常総会
- 〃 函館方面管内の警察協力者並びに優良警察職員に対する表彰式

◇陳情・要望

31日 函館空港整備に関する中央陳情

◇講習・催物

- 2・4金曜日 法律相談室
- 2・4水曜日 経営相談室
- 3水曜日 発明相談室
- 4火曜日 労働相談室
- 3・10日 記帳講習会
- 4日 経営セミナー
- 18日 労働者人材派遣法セミナー
- 24日 青果物商経営セミナー

◇刊 行 物

20日 所報「ともえ」No.66(7月号)発刊

◇相談・診断

金融163 税務214 経理148 経営163
労働9 取引0 その他2 計699

◇貸 室

本館10 別館3

◇文 書

受信249 発信15

◇慶弔・その他

- 1日 函館開港128年記念式典
- 〃 中華人民共和国駐日大使歓迎会(夕食会)
- 21日 N H K函館放送局長歓迎会
- 26日 函館駅前南地区第一種市街地再開発事業施設建築物新築工事起工式
- 30日 函館駅直営店舗オープンセレモニー
- 〃 本所元会頭田中誠一郎殿ご逝去



こころが通う おくりもの。

《まるい》の商品券



丸井今井

函館

水曜定休日
電話(0138)53-1151

操業の拡大等により操業度を引き上げ。

(段ボール)

天候不順に伴う野菜類(キャベツ、キウリ等)の成育不良、マイカ、コンブ漁の水揚げ不調等を映じて、需要期の割には荷動きに盛り上がりが見られず生産を抑制。

(乳加工品)

業界の増産に伴う需給地合い引き緩みやこのところの天候不順等を映じて、主力練乳、アイスクリーム等の荷動きが落ち込んでいるため生産を抑制。

(漁 網)

沿岸スケトウ漁向け等刺し網の引き合いは順調ながら、北洋漁業規制強化の影響から底引き網等の更新需要が大きく落ち込んでいるため、一部生産ラインの停止により減産を強化するとともに、人員合理化にも取り組み。

(その他の製造業)

合板は、公共工事や住宅着工が上向くなかで、安値インドネシア産合板の流入増に対応した高級合板の拡販奏功もあって、荷動きが増加していたため、時間外操業を拡大しフル生産体制に復帰。またセメントでは、漁港、ダム、原発等の公共工事活発化に伴い荷動きが好転、生産水準も上昇。生コンの出荷も、マンション・学校工事等向けに順調。

(建設関連)

管内主要官公庁の公共工事発注状況は、橋梁、漁港、農地改良等大型工事を中心に6月中発注規模が前年を2割方上回り、同月末における発注進捗率も約7割(前年6割)弱に達するなど、これまでになく順調。住宅着工(函館市内)も諸金利低下等を好材料として個人住宅、マンションを中心に4か月連続前年を上回っている。このため建設業者の受注も、大手・中堅筋を中心に順調。

(農 業)

農作物は、このところの異常低温や日照不足が響き、水稻をはじめ全般的に成育遅れが目立ち始めており、先行き収穫期に向けての影響が懸念される状況。

(漁 業)

近海マイカ漁は、7月入り後管内沿岸部に漁場が形成されつつあるものの、そ

の規模がなお小さく水揚げが本格化するには至っていない。噴火湾毛ガニ漁は、6月上旬以降1か月間の限定操業であったものの、期間中の水揚げは昨年を4割方上回る約230トンに達した模様。

(小売商況等)

6月中の市内大型小売店(10か店)の売り上げは、雑貨、家庭用品が堅調な売れ行きを示したものの、衣料品や身回り品の動きが鈍く、月中ではほぼ前年並み水準(前年比△0.4%)に止まった。7月入り後についても、このところの天候不順から客足が鈍く、夏物衣料品、中元贈答品(食料品等)を中心に幾分不冴えな展開となっている模様。一方、自動車販売(含む軽自動車)は、3年車検の期限接近や新車投入等を好材料として買い替えの動きが高まり、2か月連続して2桁台の伸び(6月中管内自動車新車販売台数前年比+16.0%)を示した。また家電販売でも、季節商品のエアコン、扇風機等が不冴えながら、大型カラーテレビ、VTR等を中心に順調な動きを続けている。観光・レジャー面では、夏休み期間中の宿泊施設・航空便の予約等が好調な動きを示している模様。

3. 金融事情(6月中)

○管内金融機関の実質預金は、個人ボーナス預金の流入や法人筋の協力預金積み上り等から、月中では101億円の増加(前年は月末休日に伴う法人預金の大幅滞留から216億円増)。

一方、貸し出しは、建設、卸・小売等のつなぎ資金、水産加工の原魚買付資金が季節的に盛り上がりを見せ、月中では73億円の増加(前年102億円増)。

この間、管内銀行の貸出約定平均金利は、プライムレート引き下げに伴う利下げ交渉の進展から月中△0.080%と大幅低下(前月△0.041%)。

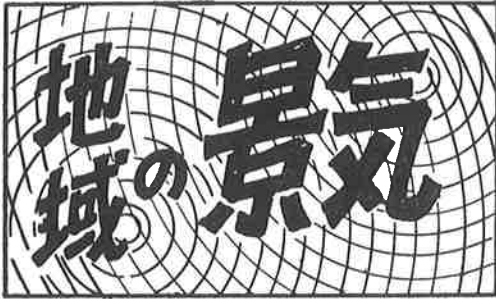
○銀行券は、公務員ボーナスや民間給与払等の現金需要が嵩んだため、月中では83億円の発行超(前年同61億円)となった。

○財政収支は、公共事業関係費公務員、ボーナス等の支払が嵩んだほか、3月期決算法人税を中心とする租税の受入れ減もあって、払超48億円と前年(同10億円)比払超幅を拡大。

以上

6月

昭和61年7月25日発表



日本銀行函館支店

1. 概況

○最近の管内経済動向をみると、公共工事の活発化、原・燃料コスト低下に伴う採算改善等の好材料がみられる一方で、異常低温・日照不足等このところの天候不順が、農作物の成育遅れ、夏物商品の売れ行き不振といったかたちで悪影響を及ぼしつつあり、全体としては盛り上がり欠ける状況が続いている。

すなわち、企業の生産活動面では、飼料・魚油、漁網が引き続き減産体制にあるほか、造船でも受注環境が一段と厳しさを増すなかで下請工の削減等に踏み切り減産姿勢を強化、また盛業期入りの段ボール、乳加工品でも荷動きに盛り上がりが見られず生産を抑制している。これに対し、内・外需要の好調な電子部品では既往ピーク水準並みの増産体制を敷いているのをはじめ、セメント、合板でも公共工事の活発化や住宅着工の持ち直し等からフル操業へ復帰、また製缶機械、合板機械、化学肥料、珍味加工でも根強い末端実需を背景に高操業を維持している。この間、個人消費面では大型小売店の売り上げが夏物衣料品等を中心に幾分不冴えなもの、自動車販売は2か月連続で2桁台の伸びを示すなど好売れ行きを示しているほか、家電販売も順調。一次産業面では、農作物の成育遅れが目立ち始めているほか、近海マイカ漁の水揚げもなお本格化するには至っていない模様。

金融面では、建設、卸・小売、水産加工等を中心に季節的な資金需要が増加。管内

銀行の貸出約定平均金利はプライムレート引き下げに伴う利下げ交渉進展を映じて一段と低下。

2. 主要業種別動向

(造船)

陸上部門では道路公団からの橋梁等中心に比較的順調な受注をみているものの、新造船部門では、親会社から新規受注の繰り延べおよび既受注船の工期延長要請を受けているほか、修繕船部門の受注も幾分鈍っているため、操業度は低下傾向。このため下請工員の一部削減のほか、本工員を対象として技術研修をも実施。

(電子部品)

内・外市場における産業用ロボット、OA機器、VTR等の末端実需上向きを映じて荷動きが好調に推移しているため、時間外操業の拡大や出向工員の呼び戻し等により増産体制を強化。

(珍味加工)

消費地間屋筋からの買い注文は、本州方面の梅雨明け遅れを映じ昨年比幾分出遅れていたものの、夏場行楽期接近とともに漸次強まっているため、時間外操業の導入等により操業度を引き上げ。

(化学)

飼料・魚油では、道東沖イワン豊漁に伴う原魚価格の低下から採算が幾分改善、魚油輸出の商談が小ロットながら久方振りに成立したものの、飼料の荷動き不振・市況軟化が続いているため、減産体制を継続。化学肥料では、新肥料年度における円高差益還元値下げもあって、農家筋が夏耕用肥料(追肥)の手当てを積極化しているため、高操業を続行。

(機械)

製缶機械では、輸出不振の缶詰メーカーからの受注は鈍化気味ながら、飲料メーカーからの受注が引き続き順調なため、高操業を維持。合板機械では、国内大手合板メーカーを中心に合理化・省力化を狙った設備更新の動きが引き続き根強く、順調な受注をみているため、時間外

製造業では、今期比ではD I 0.0と横ばい、前年同期比ではD I Δ 28.1と悪化基調を予想している。細業種でみると、水産加工業、飲食料品業、窯業・土石製品業は、今期比でD I がプラスを示し業績好転を見込んでいるが他は悪化ぎみの予想をしており、特に漁網業、一般機械器具業、造船業が業績悪化を予想している。

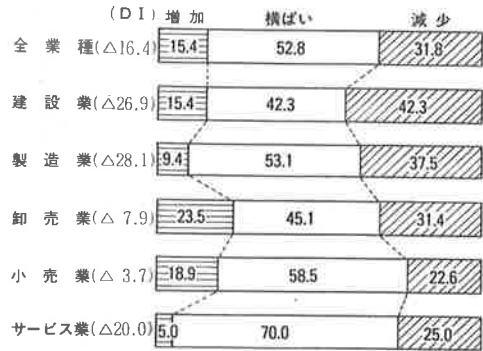
卸売業は、今期比ではD I 11.5とプラスを示し好転を見込んでいるが、前年同期比ではD I Δ 7.9とマイナスを示している。細業種でみると、織物・衣服・身の回り品業と燃料業は、今期比、前年同期比ともにD I がマイナスを示し業績悪化を予想しているが、逆に医薬品・化粧品業はともにD I がプラスを示し、好転を見込んでいる。

小売業では、今期比D I Δ 7.4、前年同期比D I Δ 3.7と、いずれもD I はマイナスを示している。細業種でみると、各種商品販売業と自動車販売業は、今期比では横ばい、前年同期比ではD I がプラスを示し業績好転を見込んでいるが、他の業種は悪化傾向を予想している。

サービス業では、今期比D I Δ 10.0、前年同期比D I Δ 20.0と、いずれもD I がマイナスを示し業績悪化を予想している。細業種でみると、観光シーズンを迎えてホテル・旅館業は今期比、前年同期比ともにD I がプラス

を示し業績好転を見込んでいるが、その他の業種は悪化基調を予想しており、特にクリーニング・理美容業と自動車整備業はともにD I がマイナスを示している。

図-6 来期の売り上げ見通し (対前年同期比)



3. 資金繰りについて

来期の資金繰りについては、全業種で今期に比べ「好転」とする企業9.7%に対し、「悪化」とする企業16.6%でD I Δ 6.9を示しているが、「変わらない」とする企業が73.7%もあり、ほぼ今期並みに推移される見通しである。

これを業種別にみると、建設業D I Δ 14.8、製造業D I Δ 9.4、卸売業D I 1.9、小売業D I Δ 5.6、サービス業D I Δ 15.0となっているが各業種とも大半の企業が「変わらない」としている。

統計資料

函館市内第一種大規模小売店舗売上高 (10店) 昭和61年6月

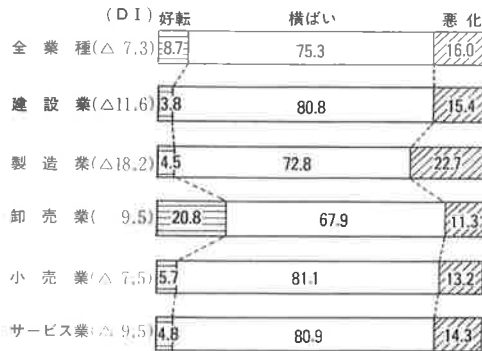
品目	売上高(千円)	対前月比(%)	対前年同月比(%)
衣料品	2,546,104	94.2	99.1
身回り品	468,316	95.8	94.2
雑貨	909,200	127.4	104.9
家庭用品	624,825	95.9	102.4
食料品	1,539,079	94.0	97.2
食堂・喫茶	173,390	97.3	96.7
サービス	57,963	82.0	85.3
その他	243,829	82.5	113.3
総計	6,562,706	97.4	99.6

※ 10店とは棒二森屋、丸井今井、さいか、和光、ハイショップホリタ、テーオー小笠原、長崎屋、イトヨーカ堂、函館西武、ホリタショップ、ズブラザ湯の川店の各店をいう。

悪化基調に変わらないが、「変わらない」とする企業が75.3%もあり、ほぼ前期並みに推移した。

業種別にみると、卸売業以外はすべての業種でD Iがマイナスを示しているが、やはりいずれも大半の企業が「変わらない」としている。

図一四 今期の資金繰り (対前期比)



5. 経営上の問題点について

今期最も苦慮している経営上の問題点としては、やはり「売り上げ・受注の不振」をあげている企業が多く、全業種で46.1%を占めている。

この「売り上げ・受注の不振」を業種別にみると、建設業74.1%、製造業45.6%、卸売業41.4%、小売業43.3%、サービス業30.0%となっている。

他に経営上の問題点をみると、建設業では「工事価格の値下り」・「労務費の増加」・「景気の見通し難」がそれぞれ7.4%、製造業では「景気の見通し難」13.6%、「純利益の減少」12.1%、卸売業では「販売価格の値下り」20.8%、「景気の見通し難」11.3%、小売業では「純利益の減少」15.1%、「客足の減少」11.3%、サービス業では「同業者の競合」20.0%、「客足の減少」・「営業経費の増加」・「純利益の減少」がそれぞれ10.0%等となっている。

来期 (7月~9月) の見通し

1. 業況について

函館地域企業の来期業況見通しを全業種でみると、今期に比べ「好転」とみる企業22.7%に対し、「横ばい」企業50.9%、「悪

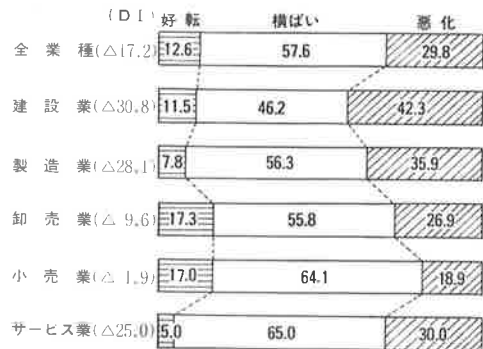
化」とみる企業26.4%でD I Δ3.7、また前年同期比でみると「好転」企業12.6%に対し、「悪化」企業29.8%でD I Δ17.2と、いずれもD Iがマイナスを示し、悪化基調を予想している。

業種別にみると、今期比では建設業D I Δ14.8、製造業D I 1.5、卸売業D I 1.9、小売業D I Δ7.4、サービス業D I Δ10.0と、製造業と卸売業以外はD Iがマイナスを示し悪化を予想している。

また前年同期比では、すべての業種でD Iがマイナスを示しており、特に建設業 (D I Δ30.8)、製造業 (D I Δ28.1)、サービス業 (D I Δ25.0) が悪化を予想している。

このように来期の業況は、業種間にバラツキがみられるが、総じて盛業期入りにもかかわらず厳しい状態を予想している。

図一五 来期の業況見通し (対前年同期比)



2. 売上額について

来期の売り上げ見通しを全業種でみると、今期に比べ「増加」とみる企業23.4%に対し、「横ばい」企業51.4%、「減少」とみる企業25.2%でD I Δ1.8とほぼ横ばい、また前年同期比では「増加」企業15.4%に対し、「横ばい」企業52.8%、「減少」企業31.8%でD I Δ16.4と、業績悪化を予想している。

次に来期の売り上げ見通しを業種別にみると、

建設業では、今期比D I Δ14.8、前年同期比D I Δ26.9といずれもD Iはマイナスを示しており、工事最盛期入りにもかかわらず、厳しい予想となっている。

DI△8.4を示しており、前年よりも悪化している。

次に売上額を業種別にみると

【建設業】

今期の工事完成額は、前期比DI 3.7、前年同期比DI△11.1と、前期比ではDIがプラスを示し業績好転をみせた。細業種でみると総合工事業が比較的好転している。

このように今期の建設業界は、冬場の不要期を脱したこともあり、受注増加でやや回復の兆しをみせたが、今一つ盛り上がりを欠いている。

【製造業】

今期の生産額は、前期比DI△4.6、前年同期比DI△15.9といずれもDIがマイナスを示している。

細業種でみると、前期比では水産加工業、窯業・土石製品業でDIがプラスを示し業績好転しており、前年同期比では飲食品業もDIがプラスを示している。しかし他はすべて悪化基調で推移しており、特に木製品・家具業、一般機械器具業は前期比、前年同期比ともにDIがマイナスを示し、業績悪化を訴えている。

【卸売業】

今期の売上額は、前期比ではDI 16.6とプラスを示し業績好転しているが、前年同期比ではDI△3.8とマイナスを示している。

細業種でみると、医薬品・化粧品業は前期比、前年同期比ともにDIがプラスを示し業績好転しているが、逆に燃料業はともにDIが大幅にマイナスを示し悪化している。他の業種は、前期比では比較的好調ながら、前年同期比では悪化ぎみに推移した。

【小売業】

今期の売上額は、前期比DI 3.7、前年同期比DI 1.9と若干ではあるがいずれもDIがプラスを示し、やや上向いている。

細業種でみると、天候不順の影響もあり、衣服・身の回り品販売業は前期比、前年同期

比ともにDIがマイナスを示し業績は悪化しているが、逆に各種商品販売業と自動車販売業は、ともにDIはプラスを示し好調に推移した。

【サービス業】

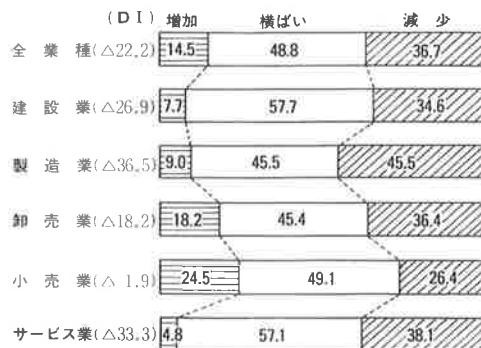
今期の売上額は、前期比DI△4.8、前年同期比DI△19.1といずれもDIがマイナスを示している。

細業種でみると、ホテル・旅館業が前期比でDIプラスを示しやや好転している以外は全般的に悪化ぎみに推移しており、特にクリーニング・理美容業は前期比、前年同期比ともにDIがマイナスを示し、業績が悪化している。

3. 純利益について

今期の純利益を全業種でみると、前期に比べて「増加」している企業22.0%に対して、「横ばい」企業45.7%、「減少」している企業32.3%でDIが△10.3を示しており、前年同期比でも「減少」企業36.7%が、「増加」企業14.5%を上回っており、DI△22.2と、減少傾向が続いている。

図一 3 今期の純利益(対前年同期比)



業種別にみると各業種とも悪化傾向にあるなかで、小売業の各種商品販売業と自動車販売業が、やや明るさをみせている。

4. 資金繰りについて

今期の資金繰りを全業種でみると、前期に比べ「好転」した企業8.7%に対し、「悪化」した企業16.0%でDIが△7.3を示しており、

経済の窓

景気動向調査

(昭和61年度 第1・四半期)

昭和61年度第1・四半期(昭和61年4月～6月)の函館における景気動向調査結果がまとまりましたので、概況をお知らせします。

なお、調査対象及び回収状況は次の通りです。

業種別	対象企業数	回収企業数	回収率
全業種	395社	282社	71.4%
建設業	50	33	66.0
製造業	100	78	78.0
卸売業	30	63	78.8
小売業	120	78	65.0
サービス業	45	30	66.7

(注) 本調査結果の中でD Iとある記号は、デフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で、各調査項目について増加(好転・上昇)企業割合から減少(悪化・低下)企業割合を差し引いた値を示しています。

今期(4月～6月)の実績

1. 業況について

函館地域企業の今期業況を全業種で見ると前期に比べ「好転」している企業28.0%に対し、「横ばい」企業46.7%、「悪化」している企業25.3%で、D Iは2.7と若干プラスを示している。

これを業種別にみると、小売業D I△1.8 サービス業D I△4.8と若干マイナス、建設業はD I 0.0でほぼ横ばい、他は製造業D I 2.9、卸売業D I 11.1とプラスを示し、やや上向いている。

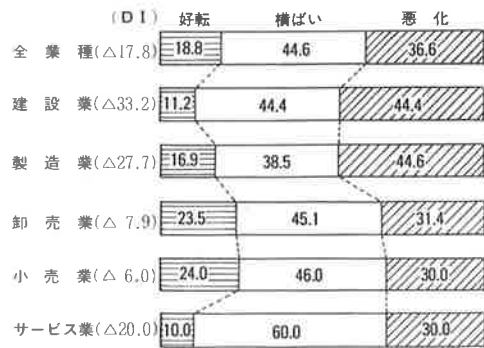
また、今期の業況を前年同期比で見ると、全業種では「好転」企業18.8%に対し、「横ばい」企業44.6%、「悪化」企業36.6%で、D Iが△17.8を示しており前年より悪化して

いる。

これを業種別にみると、すべての業種でD Iがマイナスを示し、悪化基調で推移しているが、卸売業(D I△7.9)と小売業(D I△6.0)は他業種に比べて比較的マイナス幅は小さくなっている。

このように今期の業況は、生産活動、個人消費ともやや上向いており、建築関連、観光関連も季節的に回復の兆しをみせてはいるが、全体としては依然盛り上がりを欠いたものとなっている。

図一 今期の業況(対前年同期比)

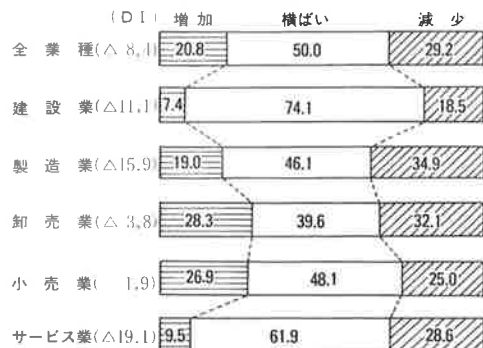


2. 売上額について

今期の売上額の状況を全業種で見ると、前期に比べ「増加」している企業30.0%に対し、「横ばい」企業43.5%、「減少」している企業26.5%で、D Iが3.5と若干プラスを示しており、冬場を脱したこともあり業績はやや上向いている。

また、今期の売上額を前年同期比で見ると全業種では「増加」企業20.8%に対し、「横ばい」企業50.0%、「減少」企業29.2%で、

図二 今期の売上額(対前年同期比)



セントピント

繁栄

商売繁盛のひけつ

販促の

3つの条件

週単位の売り出し
 一日ごとのそれが原点なら、当然週単位の売り出しがなければならぬ。
 週単位で進めることには、次のような意義がある。
 ⑦ 人間は、週単位の行動が習慣になっっている。
 これは従業員なら従業員が（休み明けにはこうしよう、来週はあれを片付けよう）のように考えやすいし、消費者の購売行動にも慣

習があつて

- 化粧品や食料品は週末によく売れる
 - 事務用品や学用品は週のはじめによく売れる
- などがそれである。

① 一週間という単位は、段々りの上でも時間的なゆとりがえやすい。

毎日ではあまりにも忙しいが、一週間がそこにあれば、そのための仕入れ、演出空間の処理、POPやショーカードの準備、その他に必要な時間が割ける。

等々がそれであつて、週単位の積極的なアプローチを、大いに進めるべきである。

同じことは月単位、四半期、おけても季節の変り目を単位にした、売り出しは是が非でも取りあげたい。

商店や商店街で、中元・歳暮に

売り出しを掛けないところはほとんどないが、年間通じての売り出しが中元と歳暮だけ、というのも珍しくない。

その中元や年の暮には沢山売れるかもしれないが、そうかといって、一回で半年分も売れる訳はないし、全国あけて煽りに煽る益・暮は、消費の多くが中心部の商店街に集中したり、消費が大きく分散するのも当然である。だからこそ、むしろ季節の変り目などには、大いにハッスルしたいものである。

スケジュールの確立

売り出しや催しに限らず、仕事はすべて計画的に進めなければならないが、売り出しを頻繁に、そして、効果的に進めようとしたら、これは計画性が大事になる。

だから、経営者や店長の段階では、当然年間を単位とした販促計画、あるいは、営業計画が確立されていなければならない。

経営者や店長が立てる年度計画では

- マーケット戦略
- 仕入品揃え等の商品戦略
- 価格政策



クリーニング
優雅な装い



ファッション



近代設備
を誇る...



京染京呉服部



毛皮・皮革
京洗染

京染京呉服部
 日吉店 54-5741
 支店
 日吉町 56-1946
 東山町 54-5330
 本社 花園町28-18
 51-5661
 55-5999



京呉服・和装小物